

今後の検討事項について

令和7年3月
政策統括官付

新たな提言(令和5年3月)を踏まえた取組



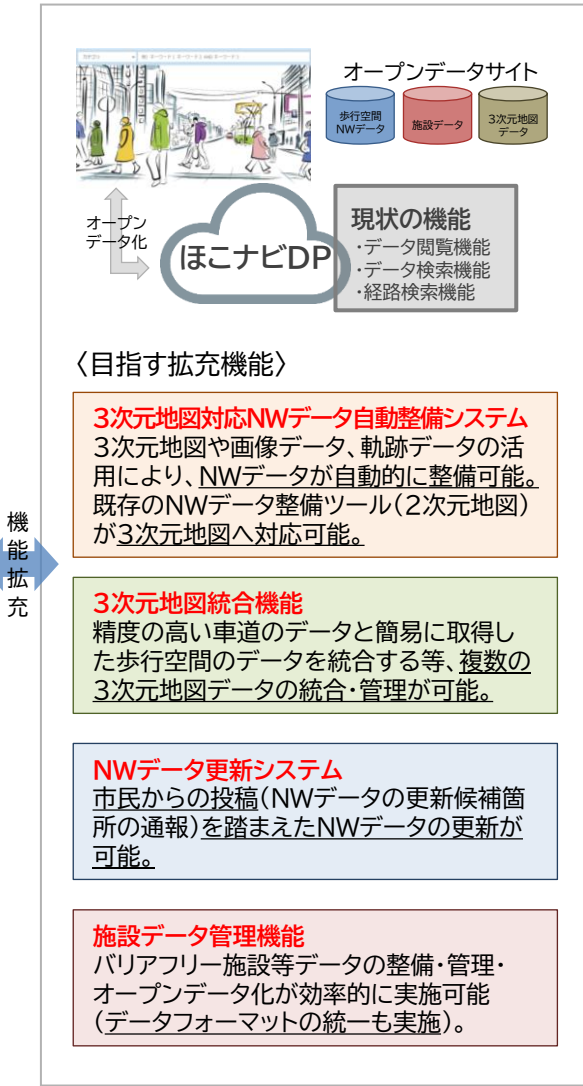
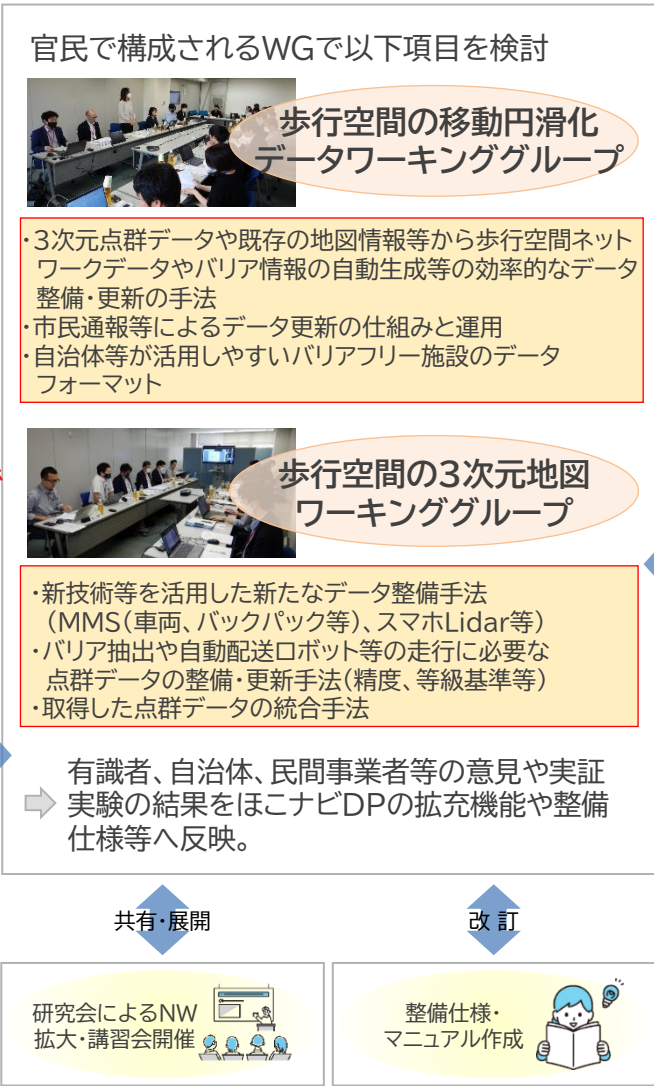
〈研究会とワーキンググループによる検討体制〉



WGで検討

結果共有

〈ワーキンググループにおける検討や実証を踏まえ「歩行空間ナビゲーション データプラットフォーム(ほこナビDP)」の拡充を図る〉



各データの課題への対応状況



歩行空間ネットワークデータ		課題	仕様・手順書等	ほこナビDP機能	
新たなニーズへの対応が必要	→	「歩行空間ネットワークデータ等整備仕様」の改訂		データWG	
データの効率的な更新手法が必要	→	市民等からのデータ提供による更新機能の構築		データWG	未対応箇所
新技術等を活用した新たなデータ整備手法が必要	→	歩行空間ネットワークデータ自動生成機能の構築	①針金データ自動生成機能 ②バリア情報自動生成機能 ③①②の統合機能	データWG	
				地図WG	
		①及び②に関するデータ整備手順書作成	データWG		
データ整備・更新等に関する持続的な運用方法の検討が必要	→	ほこナビDP運用手順書の作成		データWG	
3次元地図データ					
自動配送ロボット等の走行に必要なデータの整備・更新手法を検討 ＋ バリア情報の自動生成等に活用可能なデータの整備・更新手法を検討※	→	3次元点群データの要件整理	・データの精度 ・データの密度 ・位置基準 等	データWG※	
		3次元点群データの取得・統合手順書の作成		地図WG	
		3次元点群データ管理・登録/フィルタリング機能の構築		地図WG	
		複数3次元点群データの統合機能の構築		地図WG	
データ整備・更新等に関する持続的な運用方法の検討が必要	→	ほこナビDP運用手順書の作成		地図WG	
バリアフリー施設データ					
バリアフリー施設データ形式等の共通化、及び整備・管理・オープンデータ化作業の効率化が必要	→	施設管理者が所管するバリアフリー施設情報が整備・管理しやすいデータ形式等の作成		データWG	
		施設データの整備・管理・オープンデータ化機能の構築		データWG	
データ整備・更新等に関する持続的な運用方法の検討が必要	→	ほこナビDP運用手順書の作成		データWG	

2



- 令和5年6月に設置した「歩行空間の移動円滑化データWG」と「歩行空間の3次元地図WG」で議論してきた技術検討の内容については、概ね方向性が見えてきている。
- 次年度以降からは、これまでに検討してきた内容を踏まえ、全国展開を見据え普及促進に力を入れるとともに、オープンデータの推進のための運用にかかる検討やデータ活用を主軸に検討を行う。

(令和5年度～令和6年度)

(令和7年度～)

